

## 「泣いた赤鬼」

## 出演者プロフィール



山田 純彦 (やまだあきひこ)

指揮

国立音楽大学声楽学科卒業。同専攻科修了。声楽を横田孝、渡辺高之助、指揮を若杉弘、演出を栗山昌良の各氏に師事。第35回読売新人演奏会他に出演。二期会、NHK、東京室内歌劇場、国立音楽大学、西日本オペラ、名古屋二期会等のオペラに多数出演、また指揮、演出。平成5年には、オペラの裾野を全国に広め、普及する為、文化庁の認可を得て財団法人オペラアーツ振興財団を設立。元国立音楽大学声楽科助教授、元財団法人オペラアーツ振興財団理事長、元二期会講師、元二期会会員。伊東市在住。



山田 大輔 (やまだだいすけ)

演出・赤鬼 (テノール)

国立音楽大学声楽学科卒業。第65回読売新人演奏会他に出演。05年より文化庁主催『文化芸術による子供の育成事業』オペラ「カルメン」ワークショップにて全国児童・生徒の演技指導に注力。09年グランペーネ歌劇団主催オペラ「フィガロの結婚」(鎌倉芸術館大ホール)で演出家デビュー。13年より日立シビックセンター主催『子どもオペラ学校』第5〜7回オペラ「ヘンゼルとグレーテル」他を演出。現在、一般財団法人オペラアーツ振興財団理事長、小平市教育委員会委員長職務代理者、一般社団法人小平青年会議所第29代理事長、二期会会員。



伊藤 和広 (いとうかずひろ)

青鬼 (バリトン)

東邦音楽大学卒業。イタリアへ2年間留学。エウロペア音楽院オペラ専修課程に学ぶ。柿田和子、佐浦國雄、角田和弘、フランコ・カステッラーナ、ルカ・コルラ、ジャン・ビエロ・マストロメイの諸氏に師事。第35回イタリア声楽コンクール・シエナ部門イタリア大使杯受賞。F.カステッラーナ氏の推薦によりピエチェンツァ市立歌劇場のオーディションを受けて合格。ミラノにて『道化師』トニオ、『ラ・ボエーム』マルチェッロで好演した。現在、藤原歌劇団正団員、東邦音楽大学及び同短期大学講師。



種村 由美子 (たねむらゆみこ)

ナレーター (ソプラノ)

長野県松本市生まれ。静岡県立伊東高等学校卒業。武蔵野音楽大学卒業。卒業後、小中学校の鑑賞教室や市民病院、老人施設、県立盲学校、幼保園、美術館で定期的にコンサート活動を行う。伊東市振興公社主催の学校コンサートでフルーティスト・永井由比氏の小学生のための鑑賞教室に参加し、好評を得ず。99年伊東市民第九コンサート、12、13、14年羽田空港第九コンサートにてソプラノソリストを務める。エリー・アメリング、オリビエラ・ミリャコビッチ、江口元子、蜂谷幸恵、篠原節子の各氏に師事。



寺田 千絵美 (てらだちえみ)

木こりの娘 (ソプラノ)

東京音楽大学卒業。同大学大学院オペラ研究領域修了。ソロ・定期演奏会、卒業演奏会、JT主催「アフタヌーンコンサートvol.147」、読売新人演奏会、二期会オペラ研究所コンサート等に出演。オペラでは、モーツァルト「フィガロの結婚」スザンナ、ドニゼッティ「愛の妙薬」アディナ、ロッシーニ「シンデレラ」クロリダを演じる。第59回全日本学生音楽コンクール奨励賞受賞。第27回ソレレコ音楽コンクール入選。鈴木靖子、林ひろみ、釜洞祐子、星洋二、三林輝夫の各氏に師事。二期会会員。



人見 珠代 (ひとみたまよ)

百姓の女房 (メゾソプラノ)

東京音楽大学声楽科卒業。同研究科オペラコース修了。その後、助手を務める。オペラでは「カルメン」タイトルロール、「フィガロの結婚」「魔笛」「椿姫」「蝶々夫人」等に出演。小澤征爾指揮サイトウキネンフェスティバル「ティレジアスの乳房」「カルメル会修道女の対話」「イエス・ファ」「スパーの女王」「エフゲニー・オネーギン」、エディンバラ国際芸術祭「トゥランドット」等、多数出演。ヤマノミュージックサロン東京講師、クレッシェンドヴォイストレーナー、二期会会員。



浅原 孝夫 (あさはらたかお)

百姓 (テノール)

洗足学園大学卒業。同大学附属オペラ研究所修了。一政五月、田口興輔の各氏に師事。第33回イタリア声楽コンクール金賞受賞。オペラでは「魔笛」「ノルマ」「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」「ルイザ・ミラー」「リゴレット」「椿姫」「マクベス」「イル・トロヴァトーレ」「ラ・ボエーム」「トスカ」「蝶々夫人」「カルメン」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「道化師」「こもり」などのプリモを歌い好評を得ず。08年にCD「Favorito!!」をリリース。11年コンスタンツァにて「ランメルモールのルチア」エドガルド役を歌い好評を得ず。



大島 嘉仁 (おおしまよしひと)

木こり (バリトン)

国立音楽大学声楽学科卒業。同大学院オペラコース修了。山田純彦、山下浩司、小林一男、Carla Vannini、Eugenio Fogliatiの各氏に師事。「フィガロの結婚」伯爵、「ドン・ジョヴァンニ」レボレロ、マゼット、「コシ・ファン・トゥッチ」グリエルモ、ドン・アルフォンソ、「椿姫」ジェルモン、「道化師」シルヴィオ、「ラ・ボエーム」シヨナル、「ヘンゼルとグレーテル」ペーター、「アマールと夜の訪問者」メルヒオールなどに出演。ロータリー財団国際親善奨学生としてイタリア、ミラノに留学。数々の舞台に出演、研鑽を積む。



山田 洋子 (やまだようこ)

ピアニスト

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。小島史津子、福森湘、牧幸子、田中希代子、アンリエット・ビュイク・ロジェ、ラファエル・ゲーラ、山崎紫乃の各氏に師事。同大学同調会兵庫県支部新人演奏会、第21回兵庫県新人演奏会に出演。オペラ「カルメン」「椿姫」「フィガロの結婚」、邦人作品ではオペラ「泣いた赤鬼」オペラレタ「ブレイメンの音楽隊」等の伴奏を勤める。第20回を最後に幕を閉じた諏訪中央病院(院長・鎌田寛氏)主催「ホスピタルコンサート」(司会・畑中良輔氏)では、オペラ「カルメン」ほかを伴奏。



大野 美音 (おおのみお)

パーカッション

国立音楽大学器楽科打楽器専攻卒業。文化庁芸術祭現代音楽部門優秀賞を2回受賞、レコード芸術大賞現代音楽部門受賞、コンセルヴァミ・コンクール受賞。マリンパリスイタルを台北で、又4コクターブのヴィブラフォンリサイタルを世界で初めて東京で行い音楽誌において絶賛を得る。穴戸睦朗、一柳慧、廣瀬量平、細川俊夫、山本邦山、本間道代各諸氏を始め、国内の多くの著名作曲家、演奏家と共に日本の現代音楽を切り拓く活動を行い、多くのメディアで高く評価された。PAS会員。

## あらすじ

山奥に住んでいる赤鬼は、遊んだり、お菓子を食べたり、お茶を飲んだりして人間たちと仲良くなりたと思っていました。しかし、人間たちにしてみれば鬼は山奥に住むそれは恐ろしい存在です。赤鬼はどうすれば人間たちと仲良くなれるものかと、大親友の青鬼に相談をしました。青鬼は「僕が麓の木こりの家に入り込んで、ちょいと大暴れしよう。僕が村で暮れている最中に君が駆けつける。僕をしかけて、君は僕の頭をボカボカ殴る。そして僕は君にやっつけられて逃げて行ってしまおう。そうすれば人間たちは、君の事を良い鬼だとわかるよ!」と提案をします。

おかげで赤鬼は人間たちと仲良くなり、村人たちは毎日毎日赤鬼のお家に出かけていきました。もう赤鬼はちっとも寂しくありませんでした。けれども日数が経つうちに、心掛かりになるものがひとつ、ぼつんと取り残されている事に気がつきました。そう、青鬼くんです。。。赤鬼が久しぶりに山奥の青鬼のお家を訪ねると、青鬼は留守でした。その代わりに赤鬼宛の置き手紙がしてありました。。。

「赤鬼くん、人間たちとはいつまでも仲良くまじめに付き合って、楽しく暮らしてってください。僕はしばらく君にはお目にかかりません。このまま君と付き合いを続ければ人間は君を疑うかもしれません。薄気味悪く思うかもしれません。それでは誠につまらない。そう考えて僕はこれから、旅に出る事にしました。永い永い旅になるかもしれません。でも僕はいつまでも君を、いつまでも、いつまでも忘れはしません。どこかでまた逢えるかもしれません。さようなら、きみ。身体を大事にしてください。どこまでも君の友だち。青鬼」

赤鬼はどこかに行ってしまった青鬼に、心から泣いて謝りました。。。